

会 員 各 位

社団法人 日本住宅建設産業協会
専務理事 田 村 仁 人

保険契約申込書記入例と申込必要書類について（まもりすまい保険）

（財）住宅保証機構では、平成21年12月18日に申込書作成ツールの改訂版をホームページで公開しましたのでご案内いたします。（<http://www.how.or.jp/kasitanpo/download/tool.html>）

またこれに伴い、当協会では申込書等の記入例を作成しましたので、参考にしてください。なお、保険申込時期・必要な書類も下記にまとめましたので、ご確認ください。

記

1．保険申込時期

工事着工前となります。

2階床伏図の取扱いが一部変更となりましたので、次頁「設計図書一覧」の 印を必ずご確認ください。

2．申込時必要書類

保険契約申込書（特定住宅版） 正副2通

設計内容確認シート 1通（矩計図・基礎伏図等の設計図書に「確認事項」欄の内容が分かるよう、寸法・勾配等を記入してください。図面に記入がないと受付ができません。）

確認済証及び確認申請書（1-5面）の写し（建築確認が不要の地域は建築工事届の写し）

設計図書（2枚目の一覧を参照）

請負契約書の写し（注文住宅の場合）

地盤調査に関する資料（地盤調査報告書又は現地調査チェックシート等）

分譲住宅の場合、保険証券発行申請時に売買契約書の写しを添付する。（申込時には不要）

住宅瑕疵担保責任保険 契約内容確認シート（3枚複写式）の住宅保証機構用1枚
（申込時の必須書類ではない）

以下は、それぞれに該当する場合のみ添付すること

機構の設計施工基準第3条の承認を受けている場合 設計施工基準第3条に係る確認書

住宅性能評価併用申込を行う場合 建設評価引受書の写し

機構の住宅完成保証制度を利用する場合 住宅完成保証書の写し

機構のまもりすまい保険と連動する地盤保証を利用する場合 地盤調査等・地盤保証依頼書の写し

・地盤調査報告書の原本（基礎仕様判定書の添付必須）

・地盤補強工事完了報告書の原本（地盤補強工事を実施した場合のみ）

地盤補強工事完了報告書の作成が遅れる場合、申込時には「施工管理報告書」を添付のこと

設計図書一覧

建築物	設計図書
建築基準法第6条第1項第四号に規定する住宅及び同第一号から四号に規定する住宅以外の住宅	付近見取図 配置図 平面図 立面図又はこれに代わる図面等 基礎の状況に関する次のいずれかの資料) 基礎伏図及び矩計図(矩計図は断面図でも差し支えない。)) 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料(平面図及び立面図等へ記載したもので差し支えない。) 2階の状況に関する次のいずれかの資料) 2階床伏図) 2階の床の火打ち梁の位置がわかる資料(平面図へ記載したもので差し支えない。) 防水措置の状況に関する次のいずれかの資料) 矩計図又は断面図) 外壁、屋根、バルコニーの防水措置の状況がわかる資料(平面図及び立面図等へ記載したもので差し支えない。)
上記以外の一戸建住宅	付近見取り図 配置図 平面図 立面図 基礎伏図 2階床伏図(3階建ての場合は3階床伏図を含む。) 矩計図又は断面図

火打梁を用いない剛床工法等の場合、平面図に「構造用合板を用いて火打梁を省略している工法」と文言を記入すれば、2階床伏図は必要ありません。

火打梁を用いる工法で保険申込時に伏図の提出が間に合わない場合は、当協会へ別途御相談ください。

(本件に関する問合せ先)

(社)日本住宅建設産業協会 担当：菊原・水野・田頭・河瀬 電話：03-3511-0611

保険契約申込書 特定住宅 記入例

財団法人住宅保証機構
住宅瑕疵担保責任保険

住宅瑕疵担保責任保険を以下により申込みます。なお、保険契約締結までに「保険契約申込事項変更届」、「保険証券発行申請書」により、申込内容の変更等を行った場合は、その内容に基づき保険契約を締結します。

申込日 平成 22 年 1 月 5 日 団体受付番号 申込受付番号

住所	フリガナ トウキョウトチヨダクコウジマチ5-3 コウジマチナカタビル8カイ	重要事項説明書を受領し、確認しました。また、借入残高の取り扱いは、関係する説明事項に同意し、保険契約を申し込みます。
氏名または商号	〒 102-0083	
役職名	東京都千代田区麹町5-3 麹町中田ビル8階	
代表者名	日住協不動産(株) 代表取締役 日住 太郎	
事業者届出番号	9 9 9 9 9 9 9 9	中小企業者コース <input checked="" type="checkbox"/> 該当・非該当

現場所在地(地名・地番)	〒 101-0052 東京都 千代田区神田小川町3-6
現場所在地(フリガナ)	フリガナ トウキョウトチヨダクカウダノガワマチ3-6
住宅取得者(予定)	フリガナ ハウス ビル太
住宅取得者(予定)	ハウスビル太 (全取得者)

保険料	受理証記載の金額(一括払、口座振替)	保険期間	引渡日から10年間
床面積	102.35 m ²	階数	地上 2 階(地下 階)
利用者関係	注文 <input checked="" type="checkbox"/> 賃貸 <input type="checkbox"/> 住宅種類 <input checked="" type="checkbox"/> 施設併用()	敷地面積	156.35 m ²
建築確認	申請機関(名称 日住協建築確認(株))	交付日	平成 21 年 12 月 28 日
建築検査申込	名称(日住協建築確認(株))	番号(第00-000号)	区 域 外
建設住宅性能評価	<input checked="" type="checkbox"/> 併用申込・別機関申込・取得済	評価機関	名称()
他保険契約	<input checked="" type="checkbox"/> 有 保険内容()	団地申込	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
機構制度(利用時)	地盤保証制度 登録地盤会社名() 登録番号()	基礎工事 竣工日	平成 年 月 日
地盤・基礎	地盤補強 <input checked="" type="checkbox"/> 小口径 表層改良 <input checked="" type="checkbox"/> その他()	基礎形式	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> その他()
工法(構造)	木造 <input type="checkbox"/> 2x4 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨 RC <input checked="" type="checkbox"/> スチール <input checked="" type="checkbox"/> ログ <input checked="" type="checkbox"/> 補強 <input checked="" type="checkbox"/> その他()	ルーフバルコニー	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 10m ² 超 20m ² 超
屋根	粘土瓦 <input type="checkbox"/> セメント瓦 <input type="checkbox"/> 金属板 <input type="checkbox"/> スレート <input type="checkbox"/> その他()	通気構法	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
外壁	モルタル <input checked="" type="checkbox"/> サイディング <input checked="" type="checkbox"/> 金属系 <input type="checkbox"/> ALC <input type="checkbox"/> その他()		
工事完了予定日(現場検査希望日)	平成 22 年 1 月 12 日	躯体工事(第2回)	平成 22 年 1 月 26 日
竣工日	平成 22 年 4 月 26 日		

設計者	会社名 ハウス設計事務所	氏名 日住 次郎	資格 一級建築士	TEL. 03-3511-0611
工事監理者	会社名 日住協不動産(株)	氏名 日住 三郎	資格 二級建築士	TEL. 03-3511-0612
工事施工者	会社名 日住協不動産(株)	氏名 日住 太郎		TEL. 03-3511-0613
現場検査立会者	会社名 日住協不動産(株)	氏名 日住 四郎	資格	TEL. 03-3511-0614

申込担当者	フリガナ トウキョウトチヨダクコウジマチ5-3	TEL. 03-3511-0611
住所	〒 101-0052 東京都千代田区麹町5-3	
フリガナ	ジギョウダイ1カ ニチジュウ ハナコ	FAX. 03-3511-0616
所属	事業第1課 氏名 日住 花子	
団体検査員	会社名 日住協不動産(株) 所属 事業第2課	TEL. 03-3511-0611
氏名	登録番号 00-00000-0	FAX. 03-3511-0616

添付書類	レ 確認済証・確認申請書(写) 請負契約書(写) 設計図書等一式 設計内容確認シート 保険契約内容確認シート
	レ 設計施工基準第3条確認書 建設住宅性能評価(写) 地盤調査報告書等 地盤補強工事完了報告書

特定団体	名称 保険募集人 氏名 No.	取次事務機関	名称 No.
	書類審査 平成 年 月 日		
	事務手数料 円		
備考	(離島・遠隔地) 転売特約		

中小企業者コース
(1) 「中小企業者コース」の保険料等の適用を受けるには、「該当」に印を付けてください。
(2) 利用する場合には、統括事務機関への商業登記簿、雇用保険関係書類等の提出が必要です。

現場所在地
郵便番号・振り仮名をご記入ください。原則、確認済証どおりにご記入ください。

住宅取得者(予定)
注文住宅の場合は、原則請負契約書の注文者を転記してください。振り仮名もご記入ください。

床面積
別棟建物面積は除きます。1階車庫面積やみなし床面積は含めてご記入ください。

建築確認
建築確認申請を提出した機関名称をご記入ください。

保険検査申込取次事務機関
第2回現場検査(屋根工事完了後)を希望する事務機関名をご記入ください。

他保険契約
他保険法人の住宅瑕疵担保責任保険・地盤保証など、(財)住宅保証機構のまもりすまい保険と保険金を支払う際に全部又は一部について支払責任が同一である商品の保険契約の有無についてご記入ください。

地盤補強
地盤補強を行わない場合は「無」に、地盤補強を行う場合は、該当する方法に印を付けてください。

確認申請書(第二面)のとおりご記入ください。

工事完了予定日
躯体工事完了とは屋根工事完了を指します。
着工前にご申請ください!!

転売特約を付帯する場合
備考欄に「転売特約」と大きく朱書きしてください。

建設業者・宅建業者
注文住宅の場合は「建設業者」に、建売住宅の場合は「宅建業者」に印を付けてください。

押印
申請書に代表者等の職印を捺印してください。2枚目にも忘れずをお願いいたします。

保険限度額
建築工事金額にかかわらず、基本契約2,000万円及び3,000万円、4,000万円、5,000万円の特別契約が申し込み可能です。

確認済証の交付日及び番号を忘れずにご記入ください。

設計施工基準第3条に係る確認
(財)住宅保証機構の設計施工基準に該当しない事項がある場合、「有」に印を付け、「基準第3条に係る確認書」を提出してください。

ルーフバルコニー(届出書の送付は不要です。)
バルコニー下が屋外の場合は「無」に、バルコニー下が屋内空間の場合は、該当する項目に印を付けます。

添付書類の欄にチェックを入れてください。

その他注意が必要な項目

- 建設住宅性能評価を利用する場合
建設評価引受書の写しが必要です。併用申込を選択する(保険検査申込取次事務機関と同一機関にて評価を受ける)場合、現場検査手数料が割引されます。
- 団地申込
保険申込時に5戸以上一括して申込み、第2回現場検査も同日に5戸以上実施の場合、現場検査手数料が割引されます。戸数をご記入ください。
- 住宅完成保証制度を利用する場合
住宅完成保証書の写しを提出してください。
- まもりすまい保険と連動する地盤保証制度を利用する場合は以下の書類が必要です。
・地盤調査等・地盤保証依頼書の写し
・地盤調査報告書原本
・地盤補強工事完了報告書原本(補強をした場合)

【注意】黒文字部分は必須項目です。保険契約申込者が必ずご記入ください。また、*印の保険限度額を訂正する場合は、申込者の訂正印が必要です。

設計内容確認シート記入例

20090701改定版

設計内容確認シート 木造住宅用（戸建・共同）

財団法人住宅保証機構

申込受付番号		申込日	平成 22 年 1 月 5 日
--------	--	-----	-----------------

この確認シートは、保険契約申込にあたり、当該住宅が(財)住宅保証機構が定める設計施工基準のうち、設計段階で特に注意すべき重要な事項について、あらかじめ届出事業者又は設計者等に確認していただくものです。確認欄の「□」には該当する項目にし点を、必要に応じて、() 内には設計図書等をもとに該当事項を記入してください。なお、「確認事項欄」に該当する事項がない場合は、設計施工基準に適合しない可能性がありますので、あらかじめ保険申込み窓口にご相談ください。

このシート作成者に「○」をつけてください：申込担当者・設計者・その他（氏名）

事業者届出番号	9 9 9 9 9 9 9 9 -	届出事業者名	日住協不動産(株)
申込担当者名	所属 事業第1課 氏名 日住 五郎	連絡先	03-3511-0611
現場所在地(地名・地番)	〒102-0083 東京 千代田区麹町5-3		
住宅取得者(予定)	ハウスビル太		

確認項目	確認事項	確認資料等(要提出)	受付機関 確認欄
地盤	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査を実施している。 <input type="checkbox"/> 地盤調査を実施していない(現地調査チェックシートでBに該当する項目が一つもない)。 <small>* 現地調査チェックシートは2階建て以下の戸建木造住宅における使用に限る。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査報告書 <input type="checkbox"/> 現地調査チェックシート	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査は、地盤の許容応力度及び軟弱地盤(軟弱層の厚さ)等が判断できる下記の方法で行っている。 調査方法 <input checked="" type="checkbox"/> スターゲーション式ゲージ試験 <input type="checkbox"/> 標準貫入試験(ボーリング調査) <input type="checkbox"/> 物理探査(表面波探査含む) <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査報告書 <input type="checkbox"/> 地盤補強工事計画書 <input type="checkbox"/> 地盤補強工事報告書 <input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/> 杭仕様書 <input type="checkbox"/> その他()	
基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査は、4点以上(建物の4隅付近を含む)で実施している。 <input type="checkbox"/> 3点以下の場合、「施工時に支持地盤が確認できる根拠」又は「均質な地盤であると判断した根拠」を示す書類がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査報告書の考察 <input type="checkbox"/> その他の考察 <input type="checkbox"/> 基礎設計のためのチェックシート <input type="checkbox"/> その他()	
	地盤補強の有無 <input type="checkbox"/> 地盤補強なしの場合は、補強が必要ないことの根拠となる資料がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 地盤補強をしている場合は、その補強方法を決定した根拠となる資料がある。	<input type="checkbox"/> その他()	
基礎	<input checked="" type="checkbox"/> ベタ基礎 <small>* 特定住宅の場合は400mm以上(特定団体一覽: https://www.how.or.jp/misc/orig.html)</small> <input type="checkbox"/> 布基礎 <small>* 特定住宅の場合は400mm以上(特定団体一覽: https://www.how.or.jp/misc/orig.html)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎の立上り部分高さは、地上部分で300mm以上である。 <input type="checkbox"/> 配筋は、次のいずれかを根拠としたものである。 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅保証機構のベタ基礎配筋表 <input type="checkbox"/> 構造計算 <input type="checkbox"/> その他の工学的判断()	<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()
	<input type="checkbox"/> 布基礎 <small>* 特定住宅の場合は400mm以上(特定団体一覽: https://www.how.or.jp/misc/orig.html)</small>	<input type="checkbox"/> 基礎の立上り部分高さは、地上部分で300mm以上である。 <small>* 特定住宅の場合は400mm以上(特定団体一覽: https://www.how.or.jp/misc/orig.html)</small>	<input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()
勾配屋根※ <input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根は、屋根葺き材に応じた屋根勾配である。	<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 立面図 <input type="checkbox"/> 矩計図	
天窓 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 天窓メーカーの仕様書による施工である。メーカー名() <small>* メーカーの仕様書は、現場検査時にご提示ください。</small>	<input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()	
陸屋根※ <input type="checkbox"/> 該当なし	陸屋根	<input checked="" type="checkbox"/> 金属板(銅版)葺き <input type="checkbox"/> 塩ビ系シート防水 <input type="checkbox"/> アスファルト防水 <input type="checkbox"/> 改質アスファルト防水 <input checked="" type="checkbox"/> FFRP防水(2プライ) <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()
	バルコニー	<input checked="" type="checkbox"/> 金属板(銅版)葺き <input type="checkbox"/> 塩ビ系シート防水 <input type="checkbox"/> アスファルト防水 <input type="checkbox"/> 改質アスファルト防水 <input checked="" type="checkbox"/> FFRP防水(2プライ) <input type="checkbox"/> その他()	
屋根・床の勾配 及び バルコニー <input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根・床の排水勾配は、1/50以上である。 <input type="checkbox"/> 防水材製造者の施工基準によっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 立面図 <input type="checkbox"/> 防水製造者仕様書等	
	手摺及びパラペット(手摺等)の笠木 <input checked="" type="checkbox"/> 笠木の固定金具等を取付けるための釘・ビス等が防水紙を貫通する部分には、防水テープやシーリングなどの止水措置を施している。 <input type="checkbox"/> 外壁を通気構法としている場合は、手摺等において外壁の通気を妨げない形状である。 <input type="checkbox"/> 外壁は通気構法でない(外壁: 目付仕上りALC/パネル等を使用の場合のみ)	<input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()	
外壁	防水層の立上り高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 手摺等と屋根・床面の取合い部分の防水層は、開口部の下端で120mm以上、それ以外の部分で250mm以上立上っている。	<input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> その他()
	<input type="checkbox"/> 湿式仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> 乾式仕上げ	<input type="checkbox"/> 防水紙は、JIS A 6005に適合するアスファルトフェルト430(20kg/巻相当品)又は同等品である。 <input type="checkbox"/> 通気構法である。 <input checked="" type="checkbox"/> 通気構法である。 <input type="checkbox"/> ALC 材又は押出し成形の外壁等を用いる基準9条3項の仕上り塗材を用いている。	

※: 原則として、屋根裏の下水道にパラペット又は内樋がある場合は「陸屋根」、ない場合は「勾配屋根」として取り扱います。
 (注) 3条確認(適用除外)工法・仕様を用いる場合は、該当する項目名を○で囲み、余白にその旨をご記入ください。

受付機関名	機関受付印
保険募集人	
備考	

記入は不要です。

事業者届出番号
をご記入ください。

申込日を記入してください。

シート作成者に を付けてください。

地盤調査会社の考察と実際の補強内容が異なる場合には、別途考察の作成等が必要です。

「べた基礎」又は「布基礎」をチェックしてください。特定住宅は、すべての物件において基礎の立上り部分高さが40cm以上必要です。

「べた基礎」の場合、配筋の根拠に必ずチェックを入れてください。工学的判断に基づく場合、判断方法や根拠資料等を添付してください。(「日住協べた基礎スラブ配筋スパン表」を用いる場合、工学的判断にチェックし、スパン表の写しを添付してください。)

陸屋根の防水材・屋根勾配を図面にご記入ください。平面図等の該当箇所に記入するか、バルコニーの仕様と同じ(防水立上り含む)の場合には、凡例や矩計図等のバルコニーの仕様をまとめた項目に、「陸屋根はバルコニーの仕様と同じ」と記入してください。

該当する項目にチェックを入れてください。

図面に「サッシの下端」及び「それ以外の部分」の寸法を具体的数値で記入してください。

湿式仕上げには透湿防水シートは使用できません。(通気工法、または設計施工基準第3条に係る確認を受けた工法を除く)

原則、保険申請時に地盤調査報告書を添付してください。
 (ただし、地盤調査を既に行っているが、地盤調査報告書の作成に時間を要する等の理由で、申込時に報告書の提出は間に合わないが、調査会社からは、調査結果(考察)を口答で確認しており、その考察に基づき基礎の設計をしている場合を除く。)

申込時に地盤調査報告書の添付がない場合は、必ず「第1回現場検査時」に提出してください。この場合、地盤調査箇所数、地盤補強の有無について、必ずチェックを入れてください。

「SWS 試験報告書」「標準貫入試験報告書」「物理探査報告書」以外の場合、「その他」にチェックを入れて、具体例を記入してください。

「メーカーの仕様書による施工である」場合、メーカー名をご記入ください。

「確認資料等」欄の矩計図・基礎伏図等の設計図書に必ずチェックを入れてください。

矩計図・基礎伏図等の設計図書に「確認事項」欄の内容が分かるよう、寸法・勾配等を記入してください。記入がないと受付ができませんので、忘れずにご記入ください。